

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	アーカスプロジェクト参画事業	担当課	生涯学習課	
総合計画	政策	こころ豊かに暮らせるまち	計画期間	平成 7年度～
	施策	生涯学習の推進	種別	任意の事務
	基本事業	親しみを感じる芸術・文化の推進	市民協働	実行委員会
予算科目コード	01-100401-02 単独	根拠法令・条例等		

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
<p>地域活性化を目的に県事業の「国際芸術文化交流拠点整備構想（アーカス構想）」を誘致。平成6年度に試行、翌7年度から「アーカス構想パイロット事業」として本格的に展開が開始される。平成12年度から「アーカスプロジェクト」として現在に至る。</p>	<p>1 県，市，関係機関からなる実行委員会（県事務局）へ負担金を支出し，下記事業を展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代アーティストの招へい及び制作支援，活動発表会の開催（レジデンスプログラム） ・一般向け，子ども向けアートイベントの開催（地域プログラム） ・小学校へのアーティスト派遣事業の実施（地域プログラム） <p>2 アーカスプロジェクトの運営に際して，市は主に以下の支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作家制作の場としてもりや学びの里を提供 ・市内イベント活動等の運営支援 ・事業広報活動
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
<p>茨城県主催のアーカスプロジェクトに参画することにより，市民に対し芸術文化活動の体験機会を提供するとともに，地域の文化活動の推進と市のイメージアップを図る。</p> <p>アーティストとの交流機会を提供することで，子ども達の豊かな心と感性を育てる。</p>	
（参考）基本事業の目指す姿	
<p>芸術・文化・歴史に関する活動に触れる機会・場を提供し，市民が芸術や文化を気軽に親しめるようにする。</p>	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
<ul style="list-style-type: none"> ・当該事業は，世界的には有名になり毎年多くの国から，多くのアーティストの応募がある。しかし，市民の認知度は低いため積極的に各種事業をとおしてPRしていく。 ・県，アーカス事務局，市の3者協賛事業であるため情報の共有が困難であったり，指示にタイムラグが生じたり，仕事の割り振りが曖昧になってしまっている。 	<p>通年：1 守谷市のHPにバナーを設置し閲覧による認識を高める。事業のPRの機会をその都度考えていく。</p> <p>2 イベントの前には時間をつくり，3 者でのミーティングを行う。</p> <p>3 作品の展示場所を探していく。</p> <p>4月～8月：招聘アーティスト募集・選考 世界各国に招聘アーティストの募集をかけ、選考を行う</p> <p>9月：オープニングレセプション</p> <p>10月～12月：招聘アーティストによる創作活動</p> <p>11月：オープンスタジオ</p>
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
<ul style="list-style-type: none"> ・広報活動の幅を広げる。 ・市民が関心のあるプログラムやイベントを企画する。 ・県，アーカス事務局，市での情報共有のため，ミーティングの機会を設ける。 	

次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	<p>アーカス事業が四半世紀になり，県としては新たな試みとして，守谷駅前に通年で，アーティストの作品を展示できる場所を探しており事業の拡大要望がある。</p>

H29年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H30年度の振り返り）	
H29年度の評価（課題）	H30年度を取組（評価、課題への対応）
アーカス事業計画会議やアーカイブスに関する会議を行ったが、どうしてもアート関係者よりのイベントが多くなってしまい、一般市民の参加の増加を図れなかった。	アーティストインレジデンスプログラムで、3人のアーティスト（出身地：トルコ、アメリカ、オランダ）を招聘し、市民に芸術鑑賞やアーティストとの交流の場を提供した。 子どもや一般市民も参加しやすいワークショップ（ヒビノホスピタルvol.74）を開催した。 これまでの事業等を振り返り、今後の事業の方向性を確認する会議を行った。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	目標値（R03）
事業に参加した市民の数（人）	1,799.00	1,900.00	2,176.00	2,200.00	2,200.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	毎年、同じ事業（オープンスタジオ、ヒビノホスピタル等）を継続しているが、市民の認知度はまだまだ低い。誰もが参加しやすく楽しめるよう創意工夫されており、参加者が増加している一方で、年齢層の偏りや参加者の固定化も見られる。更なるプロジェクトのPRを継続し、市民にスタジオに足を運んでもらえるよう工夫する必要がある。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 維持	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	県からは、新たな試みとして、市民の目に触れる場所や人が集まる場所になど、アーティストの作品を展示できる場所を探しており、事業の拡大要望があるが、プロジェクトを知らない市民が多いため、市内の他団体等との協力や交流により、芸術に親しむ市民のすそ野を広げる事業を検討するなど、「アーカスプロジェクト」の認知度を上げる取組を優先して行っていく。			

コストの推移						
項目		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R01年度予算	R02年度見込
事業費	計	6,019	4,500	4,500	4,500	5,000
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	4,500	0	0
	一般財源	6,019	4,500	0	4,500	5,000
正職員人工数（時間数）		268.00	193.00	124.00	0.00	0.00
正職員人件費		1,099	791	518	0	0
トータルコスト		7,118	5,291	5,018	4,500	5,000

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	芸術祭事業	担当課	生涯学習課	
総合計画	政策	こころ豊かに暮らせるまち	計画期間	昭和52年度～
	施策	生涯学習の推進	種別	任意の事務
	基本事業	親しみを感じる芸術・文化の推進	市民協働	共催
予算科目コード	01-100401-18 単独	根拠法令・条例等		

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
<p>昭和52年当時、守谷には文化的イベントが無く、それを不満に感じていた町民有志7名が発起人となって文化協会を設立し、自らの手で芸術祭を開催した。</p>	<p>文化協会との共催により、以下の事業を行う。</p> <p>①美術展 会場：中央公民館 ②菊花展 会場：市役所中庭 ③若い芽のコンサート 会場：中央公民館 ④生花展 会場：中央公民館 ⑤生け花体験教室 会場：中央公民館（生花展と同時開催） ⑥芸能祭 会場：中央公民館 ⑦お茶会 会場：中央公民館（H28・29年度は休止）</p>
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
<ul style="list-style-type: none"> ・市民の文化芸術活動意欲や市民交流を促進し、喜びや生きがいを感じてもらおう。 ・文化芸術活動を通して、市の魅力を発信する。 	
（参考）基本事業の目指す姿	
<p>芸術・文化・歴史に関する活動に触れる機会・場を提供し、市民が芸術や文化を気軽に親しめるようにする。</p>	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
<p>美術展において、高齢化により年々出品数、出品者が減ってきている。また、菊花展においても高齢化により出品数が減ってきている。美術展、菊花展を行う場所が同じ場所のため、来場者も横ばい状態である。展示を行う場所を再検討する必要がある。</p>	<p>9月中旬 芸術祭実行委員会 10月中旬 芸術祭出品者会議 10月7日 ふれあい茶会 10月28日～11月4日 美術展 11月2日～10日 菊花展 11月11日 若い芽のコンサート&オータムコンサート 11月23日 芸能祭</p>
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
<p>美術展については、開催する場所を中央公民館からイオンタウンの展示スペース等に変更し、新たな来客者を増やす。広報紙、市ホームページに掲載し、新たな出品者を増やす。また、守谷高校美術部に出品をお願いする。</p> <p>菊花展については、開催する場所を市役所中庭から人の往来の多い、守谷駅西口広場等に変更する事により、拝観者も増加し、出品者への意欲向上にもつながると思われる。</p>	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	<p>ポスター印刷や消耗品の必要最小限に抑えており、削減は困難である。</p>

H29年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H30年度の振り返り）	
H29年度の評価（課題）	H30年度の実績（評価、課題への対応）
美術展や菊花展において、高齢化により年々出品数、出品者が減ってきている。 展示を行う場所を再検討する必要がある。	芸術祭ポスターを作成し、各公民館、公共施設、近隣市町村へ掲示依頼を行った。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	目標値（R03）
出品・出演者数（人）	648.00	600.00	600.00	600.00	600.00
来場者数（人）	9,649.00	6,098.00	9,000.00	9,000.00	10,000.00
成果の動向（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input checked="" type="checkbox"/> 低下	美術展の作品者が減少している。 菊花展の出展者も高齢化進み運搬等に難があり出展数が減少しており、来年度は中止。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 維持	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	来年度について中央公民館が改修工事により使用できないことから、美術展、コンサート等の時期、開催場所の検討が必要である。 また、若い芽のコンサート等の周知を再度、小中学校にお願いする。			

コストの推移						
項目		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R01年度予算	R02年度見込
事業費	計	73	60	62	74	75
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	73	60	62	74	75
正職員人工数（時間数）		131.00	147.00	79.00	0.00	0.00
正職員人件費		537	603	330	0	0
トータルコスト		610	663	392	74	75

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	守谷市美術作家展事業	担当課	生涯学習課	
総合計画	政策	こころ豊かに暮らせるまち	計画期間	昭和60年度～
	施策	生涯学習の推進	種別	任意的事務
	基本事業	親しみを感じる芸術・文化の推進	市民協働	実行委員会
予算科目コード	01-100401-19 単独	根拠法令・条例等		

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
<p>町内のプロ作家，茨城県美術展覧会入選者の作品を，町内で見られるようにするため，昭和60年度に開始された。</p>	<p>市内在住・在勤，市出身など，守谷にゆかりのある美術作家の作品展を開催する。</p>
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
<p>（市民に対して）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市にゆかりの作家を知ってもらうことで，郷土に対する愛着を深める。 ・美術鑑賞の機会を設け，芸術活動への関心を高める。 <p>（作家に対して）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の作家や市民との交流を促進し，創作活動の意欲や郷土意識を高める。 	
<p>（参考）基本事業の目指す姿</p> <p>芸術・文化・歴史に関する活動に触れる機会・場を提供し，市民が芸術や文化を気軽に親しめるようにする。</p>	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
<ul style="list-style-type: none"> ・市民ギャラリーでの展示において看板等宣伝効果のある掲示物を掲げることが困難であるため周囲の認知度が低い。 ・来場者の年齢も，出品者の年齢も高齢化してきている。 <p>有効なPR手段や新たな出品者の開拓方法を検討する必要がある。</p>	<p>11月：第1回実行委員会議 12月：第2回実行委員会議 1月：出品者会議 2月23日～3月3日：美術作家展展示期間 3月3日：反省会</p>
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
<ul style="list-style-type: none"> ・掲示物を増やし，市内外に関わらず広報活動を様々な手段で行っていく。 ・市内小中学校にもポスター等を配布し，若い層の会場来客者を増やす。 	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	<p>ポスター及び，ハガキ等必要最低限の経費を経常しており，これ以上の削減の余地がない。</p>

H29年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H30年度の振り返り）	
H29年度の評価（課題）	H30年度の取組（評価、課題への対応）
美術作家展での展示において看板等宣伝効果のある掲示物を掲げることが困難であるため周囲の認知度が低い。 来場者の年齢も、出品者の年齢も高齢化している。	美術作家展作品展示について、作品の展示数も多くなったことにより、一人1点の作品の展示を行うことにより、スペースの活用が昨年よりも良い作品展示ができた。 市民ギャラリーにおいて美術作家展が行っているわからないという意見もあったので、ステ看的他に2.3mの看板を設置し、周辺のPRを行った。 今後も出展作品が増えた場合には、現在の市民ギャラリーでは展示が困難になり、他の場所での開催も考えておく必要がある。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	目標値（R03）
出品者数（人）	56.00	69.00	62.00	70.00	63.00
来場者数（人）	997.00	740.00	644.00	900.00	1,000.00
成果の動向（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	出展者の高齢化により、会員数は70名を超えているが、退会や体調不良ため、不参加者が増えた。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	美術作家展以外にも美術鑑賞の機会を設け、芸術活動への関心を高める。 他ジャンルの作家や市民との交流を推進し、創作活動意欲や郷土意識を高める。 美術作家展開催を市内小中学校等に声を掛け、若い層に興味を持ってもらえるよう進める。			

コストの推移						
項目		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R01年度予算	R02年度見込
事業費	計	160	161	282	289	188
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	160	161	282	289	188
正職員人工数（時間数）		188.00	468.00	170.00	0.00	0.00
正職員人件費		771	1,919	710	0	0
トータルコスト		931	2,080	992	289	188

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	文化協会補助事業	担当課	生涯学習課	
総合計画	政策	こころ豊かに暮らせるまち	計画期間	昭和52年度～
	施策	生涯学習の推進	種別	任意の事務
	基本事業	親しみを感じる芸術・文化の推進	市民協働	補助事業
予算科目コード	01-100401-21 単独	根拠法令・条例等		

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？

背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
文化協会結成以前には町主催の文化事業がなく、市民の自主的な生涯学習や個性豊かな文化芸術活動を推進するには、担い手となる文化団体を支援・育成する必要があった。	補助金を交付して、ふれあい美術展、芸能大会、芸術祭（市と共催）、伝統文化・伝統芸能子ども教室、茶道教室、陶器市、スプリングコンサート等の文化協会の活動を支援する。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
芸術文化の振興を目的に活動する守谷市文化協会の自主的な事業を支援し、市民の交流と芸術文化活動の向上を図ることで、市の活性化を目指す。 文化協会会員の経済的負担を軽減し、文化事業（美術展、音楽会、各種講座など）を継続して実施してもらう。	
（参考）基本事業の目指す姿	
芸術・文化・歴史に関する活動に触れる機会・場を提供し、市民が芸術や文化を気軽に親しめるようにする。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）

目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
<ul style="list-style-type: none"> 文化協会の事務に関する連絡が希薄である上に、事務作業手順等が市と協会との間で齟齬が生じているため、やりとりに不安がある。 文化協会全体の高齢化が進んでいる。 文化協会の敷居が高いものとなっていて、一般の方の入会がしにくい状況となっている。 部会自体のジャンルが偏ったまま、決まりきったもののみとなっているため、既存のジャンル以外の文化活動が広がりを見せられない。 	4月：茶道講座、総会 6月：もりや夢の舞と響、ふれあい美術展、生花展 7月：芸能大会 10月：ふれあい茶会、スプリングコンサート 11月：芸術祭（若い芽のコンサート&オータムコンサート・芸能祭含む） 12月：クリスマスコンサート、親子で楽しむ邦楽演奏会
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
<ul style="list-style-type: none"> 文化協会が主体となって行うイベントにおいて、市への依頼等がある場合の要請手順等を双方で再度確認し、規定化する。 子ども体験教室などを提案し、若年層への文化理解を高める 入会について「待ち」の姿勢ではなく、積極的に宣伝する。 	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	文化協会との共催事業も現年度までの間に削減を続けてきて、これ以上の削減や事業縮小は難しいと判断したため、これ以上の削減の余地がない。

H29年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H30年度の振り返り）	
H29年度の評価（課題）	H30年度 of 取組（評価、課題への対応）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 構成会員の高齢化が懸念される。 ・ 現存する部会にこだわらず、若い世代にも支持されやすい部会を作る等門戸を拡げることが大切。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の時期や開催場所についての見直し、協議。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	目標値（R03）
文化協会会員数（人）	580.00	532.00	536.00	530.00	530.00
実施事業数（共催事業を除く）（回）	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00
成果の動向（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	平成30年度の実施事業が、従来通りであったため。若い世代が関心を持ちにくい事業ではあるが、シルバー世代には人気が高い。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 維持	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	来年度については、中央公民館の改修工事があるため、各事業の開催時期の検討。また、集客の見込めるイオンタウンや市民交流プラザのギャラリーで開催することにより、事業の活性化が見込まれる。			

コストの推移						
項目		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R01年度予算	R02年度見込
事業費	計	920	920	920	920	920
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	920	920	920	920	920
正職員人工数（時間数）		33.00	25.00	33.00	0.00	0.00
正職員人件費		135	103	138	0	0
トータルコスト		1,055	1,023	1,058	920	920